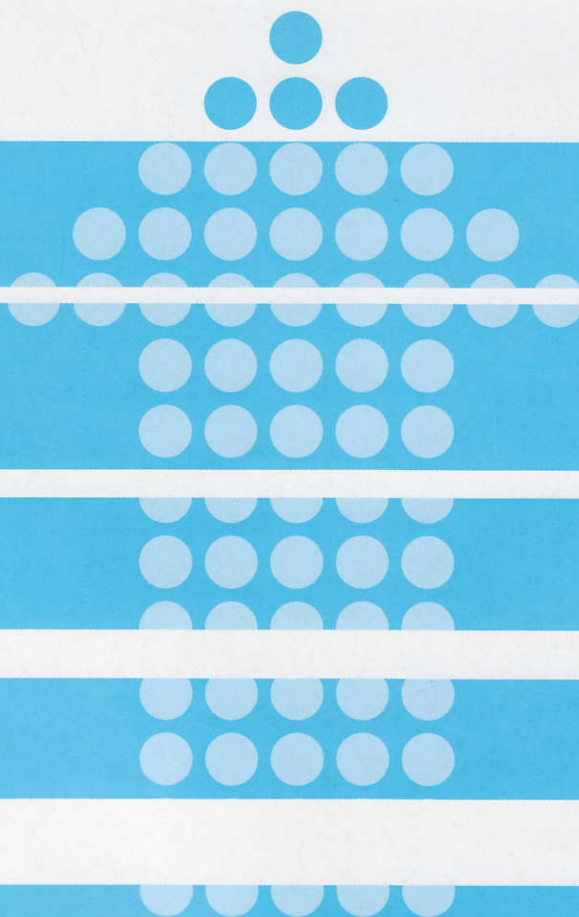


徳島大学

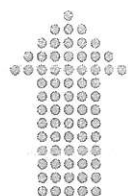
FD推進ハンドブック



監修 徳島大学大学教育委員会

制作 徳島大学大学開放実践センター

目



次

1. シラバスとは何か	1
2. シラバスの4つの性質	2
3. 大学教員がシラバスを作る意義	3
4. シラバスの書き方	4
①開講授業や担当教官に関する事務的な情報	5
②授業の目的と目標の書き方	6
③授業概要の書き方	8
④授業計画(スケジュールに関する情報)の書き方	9
⑤授業方法(授業の進め方)の書き方	10
⑥教科書、参考書、参考資料の書き方	10
⑦成績評価の書き方	11
⑧受講上の注意事項の書き方	11
5. シラバスの各項目の関連図	12
6. 付 録	13
①アメリカの大学におけるシラバス	13
②「成長するティップス先生」の中のシラバス	14
③北海道大学高等教育機能開発総合センターのホームページのシラバス	15
④一般目標 (GIO) と行動目標 (SBOs)	16
⑤一般目標と行動目標記述のための動詞例	17
⑥シラバスの例 (共通教育)	18
⑦シラバスの例 (工学部)	19
⑧シラバスの例 (総合科学部)	20
⑨シラバス(実習)の例 (薬学部)	21
⑩シラバスの例 (医学部)	22
⑪シラバスの例 (歯学部)	23

目



次

1. 講義の準備から評価まで	29
2. 講義法とは	30
3. 講義法採用の要件	31
4. 講義法の長所・短所	32
5. 講義展開の工夫	33
6. 学生中心とは	34
7. 学習目標の設定	35
8. 第1回目の講義の工夫	36
9. 講義の工夫	37
10. 講義の組立	38
11. 教材・教具の特色	39
12. 双方向性の確保	45
13. 大教室での講義	46
14. 話し方	47
15. アクション	50

目



次

1. 成績評価の目的	55
2. 評価のもつべき属性	56
3. 何を評価するか	57
4. 評価をいつ行うか	58
5. 評価の方法と評価対象	59
6. 試験問題の出し方	60
7. 客観試験	61
8. 論述試験	62
9. 実地試験	63
10. 口述試験	64
11. レポート、論文による成績評価	66
12. 発表会による成績評価	68
13. 観察記録による成績評価	69
14. 採点は公正に	71
15. 成績点の分布	73
16. 成績評価から合否判定へ	75

目 次



1. 授業研究会の目的	81
2. 開催の時期	82
3. 運営の準備	83
4. 授業検討のための要点	85
5. 討議ポイント	
①授業の組み立てと構成について	86
②授業での話し方	87
③授業教材の適切さについて	88
④授業の時間配分の仕方	89
⑤教員と学生の交流の仕方	90
6. 授業研究会と授業評価表	91
7. 授業評価表	92
8. レーダーチャート	95
9. 付 録	
授業発表会運営の仕方・授業研究会運営の仕方	96
①授業発表会と授業研究会の目的	97
②運営の概略	98
③授業発表準備のためのチェック項目リスト	99
④授業計画書	100
⑤授業発表会のためのリーダー会議	101
⑥授業発表会の展開例の概略	102
⑦授業研究会の開催例の概略	103

執筆者一覧

「徳島大学全学FDハンドブック」 制作推進チーム

大学開放実践センター

■教養教育支援研究開発部門

曾田 紘二 (座長)

宮田 政徳

森田 秀芳

若泉 誠一

■専門教育支援研究開発部門

金西 計英

川野 卓二

森 和夫

■センター長

廣渡 修一

「シラバス作成ハンドブック」 制作グループ

○宮田 政徳 (大学開放実践センター助教授)

河野 文昭 (歯学部教授)

桑原 淳 (薬学部助教授)

水口 裕之 (工学部教授)

森 和夫 (大学開放実践センター教授)

山内 暁彦 (総合科学部助教授)

「わかりやすく！講義の仕方ハンドブック」 制作グループ

○曾田 紘二 (大学開放実践センター教授)

石村 和敬 (医学部教授)

金城 辰夫 (工学部教授)

平井 松午 (総合科学部教授)

「よりよい成績評価の仕方ハンドブック」 制作グループ

○若泉 誠一 (大学開放実践センター教授)

大淵 朗 (総合科学部教授)

川野 卓二 (大学開放実践センター助教授)

野間 隆文 (歯学部教授)

英 崇夫 (工学部教授)

「授業改善のための授業研究会運営 ハンドブック」制作グループ

○森田 秀芳 (大学開放実践センター教授)

桑折 範彦 (総合科学部教授)

高石 喜久 (薬学部教授)

廣渡 修一 (大学開放実践センター教授)

宮本 賢一 (医学部教授)

*大学開放実践センター内にハンドブック制作推進チームを組織し、原案の作成を行いました。
この原案を各制作グループで検討し、成案を得たものです。

*なお、○印は責任執筆者を表します。



徳島大学FD推進ハンドブック

監 修：徳島大学大学教育委員会

編集・発行：徳島大学大学開放実践センター

発行日：2002年12月（初版）

連絡先：〒770-8502 徳島市南常三島町1-1

徳島大学大学開放実践センター生涯学習係

TEL:088(656)7276 FAX:088(656)7277

e-mail : kigakusc@jim.tokushima-u.ac.jp

本書の無断転写・複写はかたくお断りいたします。